# 住宅履歴情報の蓄積・活用に関する検討ワーキンググループ

資料１－２

国土交通省

## 検討会の目的

○ 新築着工戸数の減少や住宅価格の上昇が進む中、**国民が過度な負担なく希望する住生活を実現**するため、**一定の質が確保された住宅ストックが将来にわたって長く継承される環境を構築**する重要性が高まっている。

○ こうした環境の構築に向けて、本ワーキンググループは、**住宅の適切な維持保全等と流通の好循環を図るための基盤**として、住宅の設計、施工、維持保全等に関する**情報の新たな活用のあり方**とこれに対応する**新たな保存・蓄積のあり方**を検討することを目的とする。

○ なお、本ワーキンググループは、「住宅の維持保全・流通に関する制度検討会」（座長：齊藤広子東京都市大学大学院情報データ科学研究科特任教授）の下に設置する。

## 委員等

**【委員（敬称略）】**

| | | |
|---|---|---|
| 主査 | 齊藤　広子 | 東京都市大学大学院情報データ科学研究科特任教授 |
| 委員 | 江口　亨 | 横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院准教授 |
| | 菅谷　朋子 | 聖橋法律事務所弁護士 |
| | 鈴木　雅智 | 横浜市立大学データサイエンス学部准教授 |
| | 原野　啓 | 明海大学不動産学部准教授 |
| | 福澤　佳恵 | (株)リクルートSUUMO副編集長 兼 研究員 |

**【オブザーバー】**

（一社） 住宅生産団体連合会
（一社） 住宅履歴情報蓄積・活用推進協議会
（一社） 優良ストック住宅推進協議会

**【事務局】**

国土交通省住宅局参事官（住宅瑕疵担保対策担当）付

## スケジュール

○ 令和８年10月28日(水) 第１回：
・ 現状と課題の提示、検討の方向性(案)の提示

○ 令和８年12月23日(水) 第２回：
・ 関係団体等のプレゼン
・ 新たな保存・活用のあり方に向けた論点の提示

○ 令和９年２月10日(水) 第３回：
・ 新たな保存・活用のあり方(案)の提示

※開催形式：各回２時間、非公開・ハイブリッド形式で開催
※議事概要・会議資料：原則、会議終了後に国土交通省ホームページに掲載
（主査が必要と認めるときは、その一部又は全部を非公開）

## 検討事項

住宅に関する情報の新たな活用のあり方とこれに対応する新たな保存・蓄積のあり方を検討

**〈住宅に関する情報の「新たな活用」の在り方〉**

➢ 住宅所有者等の明確なメリットにつながる新たな活用として、具体的にどのような活用があり得るか

**〈「新たな活用」にも対応する「新たな保存」の在り方〉**

➢ 「新たな活用」に必要な情報はどのようなものか
➢ 「新たな活用」に必要な情報は、誰が生成・保有するべきか
➢ 情報の確からしさをどう担保するか
➢ 個人情報保護に配慮した情報開示の仕組みはどうあるべきか　等